

「一帯一学」へ

共に歩まん

平成30年6月6日発行

第2号

長野県中^信教育事務所



子どもたちの資質・能力の育成に向けた

授業づくりはどうしたらいいの？

資質・能力の育成に向けた授業づくりのため、ボクは、目標達成表(マダラチャート)を描きはじめたよ！

中信教事オリジナルキャラ「ちゅうしんクン」

興味や関心を高める子	見通しをもつ子		互いの考えを比べる子		先哲の考えを手がかりとする子	思考して問い続ける子		自分の思いや考えと結びつける子
	主体的な学び	自分と結びつける子		対話的な学び	思考を表現に置き換える子		深い学び	知識・技能を活用する子
振り返って次へつなげる子	粘り強く取り組む子		協働して課題を解決する子		多様な手段で説明する子		新たなものを創りあげる子	自分の考えを形成する子
愛情をもって学級経営をする		子どものよい点や進歩を把握する	主体的な学び	対話的な学び	深い学び	単元や題材のまとまりで具現した姿を考える	教科等横断的な視点をもつ	
	教師の姿勢		教師の姿勢	資質・能力の育成	カリキュラム・マネジメント		カリキュラム・マネジメント	PDCAサイクルを位置づける
いつも笑顔！	「学びのゆくえ」を読む	個に応じた指導の充実を図る	素材研究	子ども理解	指導研究	全職員で取り組む		学校の人やものにつながる
学習指導要領の内容を確認する	単元でつくれる力を明確にする		子どもの興味・関心をつかむ		素地や既習を把握する		単元や題材のまとまりで展開を構想する	考えたくない問い
	素材研究	地域や身近な素材の発掘をする		子ども理解	用いてきた見方・考え方を考える		指導研究	問題解決的な学習過程を構想する
資料や教材の作成する		素材のもつ価値や面白さを考える	どんな配慮が必要か考える	つまずきを予想する		振り返る場面を設定する		必要感のあるグループ活動を仕組む

「資質・能力の育成に向けた授業」を具現するための要素はいろいろあるね。

さあ、どこから力をいれていこうかな！ (→2ページへ)


※あくまで一例です。あなたなら「資質・能力の育成に向けた授業」の具現に向けてどんな要素をいれますか。付録②の「資質・能力の育成に向けた授業づくりのための目標達成表」を使って考えてみてください。



「資質・能力を育成する授業にしたいけれど・・・どこから力をいれていこうかな？」

日々の実践を見直すと、きっと悩みはありますよね。その悩みから自分の授業改善に必要な要素を考えてみましょう。

【例】



授業準備はしているし丁寧に説明もしている。でも、子どもが意欲的に追究しているとは言えない・・・

この先生は、学習内容の定着を大切にされていますが、子どもの関心はどこにあるのでしょうか。

この悩みから授業改善にあたって、**子ども理解** という要素から考えてみると・・・

1Pの表へ


子どもの興味関心をつかむ	友との関係性をつかむ	素地や既習を把握する
	子ども理解	用いてきた見方・考え方を考える
どんな配慮が必要か考える	つまづきや予想する	

○ 実践中
△ 課題
・改善の具体を書き込む

このように、自分の授業改善の方向が見えてきませんか？また、「友との関係性をつかむ」をもっと考えて、「グループ学習のグルーピングを考えてみよう」などといった新たな方策が見えてくるかもしれません。以下に悩みをいくつか挙げてみました。「この悩み、わかるなあ」という要素からご自分の授業実践をふり返り、授業改善のヒントをつかんでみてください。


素材研究

子どもたちは喜んで活動していると思うけど、それだけでいいのかな。




主体的な学び

指示したことはちゃんとやるんだけど、自分から取り組もうとする姿が少ないなあ。




指導研究

子どもの声を大切にしているつもりだけど、一部の子だけが中心の授業になるのよね。




対話的な学び

グループ学習を位置づけても発表会になってしまって、時間があまってしまうことが多いの。




カリキュラム・マネジメント

そもそも“カリキュラム・マネジメント”って、どういことをやるんだろう。




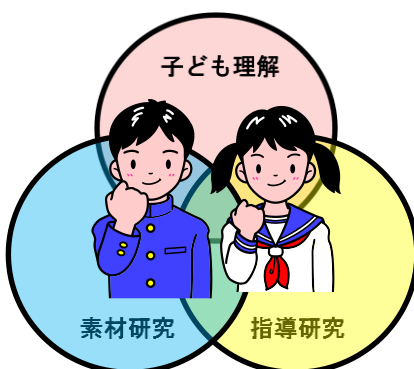
深い学び

“深い学び”という言葉をもっとよく聞くけれど、子どものどんな姿のことなのかなあ。



教師の姿勢

子どもたちと楽しい授業を創りたいけど、結局やらせる学習になってしまうのよね。

子どもを主語とした授業にしようとする中で、授業改善の方向も見えてくるよ。
資質・能力の育成に向けた授業づくりに必要な方向や方策を考えてみると、きっと明日の授業が楽しみになってくるよ！



*これらが全てではありません。日々の授業改善のポイントとして1ページと合わせてご活用ください。

「一帯一学」の根ざし処

この会で木曾の先生方とつながり、子どもたちのために尽くす



“木曾ならではの悩み”って大きいなと感じました。

でも、小さい地区だからこそ先生方とつながり、子どものために尽くせることって共通認識をしやすいと思うので、この会を通して大きな波動を起こしていければなと考えています。

先生方の研究推進計画や研究だよりをじっくり読ませていただきます。

[木曾町立福島小学校 研究主任]
池内 周己 先生

5/11 木曾郡学校長会主催 第1回木曾郡研究主任会

一帯一学

木曾
ゾーン

中信ゾーン探訪



“一人教科会が多く、教材研究の相談ができない”, “教職員数が少なく校内外の役割を数多く担わなくてはならない”等、木曾地区の先生方の悩みは、今後児童生徒数が減少していった時に、どの地区も向き合わなくてはならないことなのかもしれません。

今まさに、木曾の先生方は、学校を越えて「つながる」ことで、大きなうねりを生み出そうとしています。

すべては子どもたちのために!

初任研スタート研修

4月17日(火)実施
総合教育センター

皆さんが来るのを待っていました!

午後の研修会の初めに山口真一課長から、初任者に向けて歓迎の言葉がありました。そして、『一帯一学』についてのお話を聞きました。

グループ協議では2週間を振り返り、自分と同じように頑張っている仲間の思いを感じて、明日からの学級づくりや授業づくりへの意欲を高めていました。



- ・『一帯一学』についてのお話から、一帯となって学んでいく一帯でチームであるという意識を強くもちました。
- ・同じ悩みや気持ちをもっているんだということを共有できたことで、安心感がもてました。
- ・明日から改めて、子どものよさを認め、ほめる言葉がけをたくさんしていきたいと思いました。(初任者の声)



「初任者の先生方、共にがんばりましょう！」

中信初任研
レポート

「外国語教育」～新学習指導要領の全面実施に向けて～

小・中学校が
つながる
外国語教育



「話す力」を高める指導に力を入れたいけれど、どんなことを意識していけばいいのかしら？



お互いのことを伝え合ったり、実在の人物やキャラクターの情報を伝え合ったりすることで、自然と相づちや感想もやりとりしている様子
【白馬北小学校】

～中学校英語4技能指導力向上研修から～
「タブレット端末とヘッドセットを使ったスピーキングテスト体験」「スピーキングテストとリーディングテスト作りの演習」等を通じて、「つける力」に着目した指導の在り方について研修を深めました。



【5月22日(火) 総合教育センター】

～小学校訪問支援の様子から～
既習表現を使って新たな情報を伝え合うなど、アウトプットの活動を工夫した授業が増えてきています。



- ★ポイント★
- 目的や場面、状況に応じた場面設定、伝える情報や内容を子どもの興味・関心に基づくものにするなどの工夫をして「本当の気持ちや考え」「事実」等をやり取りするコミュニケーション活動を設定しましょう。
- 「つける力」を明確にして、単元構想、授業構想をしましょう。

「特別の教科 道徳」全面実施 (小学校は H30, 中学校は H31)

全面実施にあたっては、次の3点を大切に道徳教育を展開することとされています。

- 1 学校の**道徳教育の重点目標**を明確にしましょう。
- 2 道徳科の内容項目との関わりから**重点内容項目**を明確にしましょう。
- 3 **重点内容項目**について**具体的な指導の内容、時期**を洗い出し、**道徳教育の全体計画及び別業**を作成しましょう。

道徳科を
「要」とした
道徳教育



別業って何だろう？

別業とは、各教科等における道徳教育の指導の内容及び時期を示したものです。



学校が目ざす子ども像と、子どもの実態から、例えば道徳教育の重点目標を、「笑顔であいさつができ、約束やきまりが守れる子」、重点内容項目を「礼儀」「規則の尊重」と明確にし、具体的な指導の内容、時期を別業に示すとします。

【別業の例】小学校 第4学年

※縦軸に内容項目、横軸に教科等の内容、時期を示すと分かりやすいです。

内容項目	道徳	国語	算数	...	学校行事
...
礼儀	○○○○○ (4月) ○○○○○ (5月)	お願いやお礼の手紙 を書こう (10月)			入学式 (4月) 卒業式 (3月)
...
規則の尊重	○○○○○ (4月) ○○○○○ (5月) 雨のバス停留所 (6月) <small>「わたしたちの道徳」</small>	図書館へ行く こう (6月)	角の大きさ (4月) 折れ線グラフ (5月)		運動会 (5月) 校外学習 (9月)

★ポイント★

別業を全教師で考えることは、年間35時間(小1は34時間)の道徳科の充実はもちろん、道徳科を「要」として、「学校の教育活動全体で行う道徳教育」の重点を明らかにし、全教師が方向性を共有することにつながります。

※初めに重点内容項目について作成し、他の内容項目は教育活動を進めながら作成することもできます。そのためにも別業は見える場所に掲示しましょう。

別業作成の研修もできるよ。連絡してね!

